

いわもと せいご
岩本 誠吾

法学部教授
 修士(法学、広島大学)
 神戸大学大学院法学研究科
 博士後期課程単位取得満期退学
 副学長、教学センター長
 □ ホームページ URL
 なし

主な研究業績

- 著書：特定通常兵器使用禁止制限条約 (CCW) の成立過程 (単著) 共著『禁忌の兵器—バーリア・ウェポンの系譜学』日本経済評論社 2020年2月
- 著書：AIロボット兵器と国際法規制の方向性 (単著) 共著『実証の国際法学の継承』信山社 2019年12月
- 論文：AI兵器をどう規制するか (単著)『世界』岩波書店 2019年10月号
- その他：AI兵器 どう規制するか—国際枠組み内で漸進的に— (単著)『日本経済新聞』経済教室 2019年4月19日付
- 著書：軍用ドローンを巡る軍備管理の現状と課題 (単著) 共著『軍縮・不拡散の諸相』信山社 2019年3月
- 学会発表：特定通常兵器条約の拡大とその限界 (国際安全保障学会) 2018年12月
- 学会発表：一帯一路と国際法 (中国・上海社会科学院国際ワークショップ) 2018年11月
- 学会発表：AI・ロボット兵器と国際法規制の方向性 (国際法学会) 2018年9月
- 著書：ロボット兵器と国際法 (単著) 共著『ロボット・AIと法』有斐閣 2018年4月
- 論文：平和安全法制における自衛隊の法的地位 (単著)『産大法学』51巻3・4号 2018年1月
- 論文：武装ドローンの悲劇を阻止するために (単著)『人道研究ジャーナル』(日本赤十字国際人道研究センター) 6号 2017年3月
- 論文：国際法における海外派遣軍に対する民事裁判権の適用問題 (単著)『産大法学』50巻1・2号 2017年1月
- 学会発表：朝鮮半島の非核化に向けて (中国・上海社会科学院国際シンポジウム) 2016年11月
- 学会発表：国際人道法と軍備管理軍縮 (日本軍縮学会) 2016年4月
- 論文：日本での小型ドローン (無人機) の法整備 (単著)『CISTEC ジャーナル』(安全保障貿易情報センター) 161号 2016年1月
- 著書：“Three Complementary, Simultaneous Approaches to Maritime Security in the East China Sea : International Law, Crisis Management, and Dialogue” (単著), in *Building Confidence in East Asia : Maritime Conflicts, Interdependence and Asian Identity Thinking*, Palgrave Macmillan (US) (共著) 2015.
- 著書：辞典編纂委員兼分担執筆、日本軍縮学会編『軍縮辞典』信山社 2015年10月
- 学会発表：日本における小型ドローンの法整備の在り方 (日本安全保障貿易学会) 2015年9月
- 論文：自衛隊による在外邦人「輸送」から在外邦人「救出」へ (単著)『産大法学』48巻3・4号 2015年2月

キーワード

科学技術 (ドローン (軍用、民用)、AI / ロボット兵器、サイバー攻撃)、
 極東アジアの安全保障状況 (中国、北朝鮮、日米関係)、軍事、防衛諸問題 (自衛隊を含む)

研究テーマ Research theme

軍事安全保障に関する国際法と極東アジアの安全保障状況

概要 Overview

科学技術の進展 (AI、ロボット、サイバー) は、国際社会や国内社会に多大な影響を及ぼしています。今後の科学技術の発展と国際法規則・国内法規則の相互関係を研究しています。

さらに、極東アジアの軍事・安全保障状況は急激に変化し、複雑化しています。安全保障の側面から、今後の日本の在り方 (憲法 9 条や自衛隊を含む) を探求しています。

応用分野 Application areas

講演会やセミナーの講師として、以下のテーマで話せます。

- ・科学技術の発展と法規制の在り方 (AI ロボット、ドローン、サイバー活動など)
- ・極東アジアの安全保障 (日本、朝鮮半島、中国・台湾問題など)
- ・日本の安全保障 (憲法 9 条、自衛隊、在日米軍、日本の領土問題など)

共同研究等へのニーズ Need for joint research

政府機関、地方自治体、赤十字関連、NGO/NPO、新聞・報道機関など、社会問題、特に、安全保障に関連する問題を取り上げる諸団体と共同研究を希望します。